

1912年明治天皇、その2年後に皇后の昭憲皇太后が崩御され、国民から御神霊をおまつりして御聖徳を永久に敬いお慕いしたいとの熱き願いが沸き上がり、全国から11万人もの青年団の勤労力奉仕により参道が造られ、約10万本の献木が植えられ造営、1920年11月1日に鎮座祭が行われた明治神宮。

2020年の昨年、鎮座百年祭を迎え本殿以下36棟が重要文化財に指定されたこの聖地において時代を築く学生が集まり、御社殿群・宝物殿と意匠的に優秀な建造物が点在する祈りの杜にて、全国の大学生を中心とした合宿による地域滞在型の取り組みから、小さな建築の実現をめざします。 AAF運営学生一同

※写真「明治神宮提供」

鎮座百年・重要文化財へ  
建築学生ワークショップ明治神宮

公開プレゼンテーション 3.6

建築学生ワークショップ明治神宮2021 公開プレゼンテーション観覧者募集 | 2022年3月6日(日) 09:20-18:00  
会場: 明治神宮会館 | 交通: JR「原宿駅」よりすぐ | 参加費: 無料 | 申込: 要 | <https://ws.aaf.ac> | 定員: 300名 (事前申込制)



# Architectural Workshop MEIJIJINGU 2021

## 建築学生ワークショップ明治神宮2021 公開プレゼンテーション

場所 | 明治神宮会館 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町1-1

参加費 | 無料 | 定員 | 300名 (事前申込制・当日会場にて先着順座席選択)

申込方法 | 【要申込み】ウェブサイトよりお申込みください

「建築学生ワークショップ」で検索、もしくは <https://ws.aaf.ac>

※1 お申込みいただきましたら、自動返信メールにて受付番号をお送りさせていただきます。会場受付にてご提示ください。  
 ※2 当日のご参加も若干名様まで受け付けております。

### 開催概要

場所のもつ歴史や意味、地形や風の流れといった文脈を読むことを始点として建築はつくられていきます。つまり建築をするという行為の原点には、「場」を読み解き力こそが始まりであり、最も重要なプロセスのひとつだといえます。境内には、平成23年に重要文化財に指定された宝物殿。令和2年に都心の広大な社叢に鎮まる近代の神社建築群として本殿以下36棟が「焼失を逃れた社殿を生かしつつ、内拝殿での祭式が見通せる外拝殿の形態など、参拝の便を図りつつ、大規模な社殿群を優秀かつ特徴的な意匠でまとめた。戦後日本に相応しい神社を目指した建築群として価値が高い。」として重要文化財に指定されたこの地で共に学んだ空間を発信していきます。そこで学ぶことは、建築の道を歩み始めた次の日本を背負う学生にとって大切なことであり、これから建築をつくる揺るぎない基軸となっていくでしょう。

### 全国の大学生たちが小さな建築を明治神宮に8体実現

全国の大学生が6月より「今、建築の、原初の、聖地から」我が国を代表する聖地において空間を提案します。明治神宮に、全国から建築を学ぶ大学生が集まり、受け継がれてきた歴史を現代の問題とともに未来へとつなげていくために、「今、建築の、原初の、聖地から」伝えていくべきことを、それぞれが真剣に考え、原寸大の空間として表現し、訪れた人が中に入り空間を体感することができる小さな建築空間を1日だけ創出します。

### 参加学生

- |  |  |
|--|--|
| 1班 徳田 華(早稲田大学 修士2年)<br>房野 広太郎(明治大学 3年)<br>中山 亘(九州大学 3年)<br>阿部 慎太郎(滋賀県立大学 2年)<br>山田 奈々生(関東学院大学 2年)<br>鄭 麗盈(多摩美術大学 2年)     | 5班 金子 広季(東京大学 修士1年)<br>木原 夏樹(近畿大学 4年)<br>田中 一成(東京都立大学 3年)<br>竹鼻 隼二(法政大学 2年)<br>黒岩 七海(京都芸術大学 2年)<br>本山 嵩(北九州市立大学 2年)      |
| 2班 井上 奏音(関西学院大学 4年)<br>出井 満里奈(岡山理科大学 4年)<br>三谷 翼空(日本大学 3年)<br>甲斐 有紗(昭和女子大学 2年)<br>濱崎 滙大郎(宇都宮大学 2年)<br>白石 悠喜(徳島大学 2年)     | 6班 市瀬 智之(名城大学 修士1年)<br>富井 治弥(東京大学 3年)<br>竹田 季世(大阪大学 3年)<br>小林 さくら(北九州市立大学 3年)<br>衣笠 恭平(京都工芸繊維大学 2年)<br>鈴木 珠実(武蔵野美術大学 2年) |
| 3班 小西 吾門(京都工芸繊維大学 修士1年)<br>大野 蓮(日本女子大学 4年)<br>森口 知愛(関西学院大学 3年)<br>吉田 智陽(多摩美術大学 3年)<br>稲葉 篤郎(法政大学 2年)<br>伊藤 佑那(大阪市立大学 2年) | 7班 松本 隼(早稲田大学 修士2年)<br>堀内 愛実(神戸芸術工科大学 4年)<br>成吉 亜美(北九州市立大学 3年)<br>小早川 佳矢(愛知淑徳大学 3年)<br>北谷 心海(大阪工業大学 2年)                  |
| 4班 鈴木 啓一郎(東京大学 4年)<br>宮下 恵里花(東京都立大学 3年)<br>小阪 廉(近畿大学 3年)<br>大形 一誠(東海大学 3年)<br>森 帆乃花(武庫川女子大学 2年)<br>松井 美波(豊橋技術科学大学 2年)    | 8班 石井 健成(工学院大学 修士1年)<br>今田 木葉実(東京大学 3年)<br>岡 千颯(大阪大学 3年)<br>若杉 美弥(京都工芸繊維大学 3年)<br>印南 学哉(名古屋工業大学 2年)                      |

### AAF 運営スタッフ

統括: 宮本 勇哉(神戸芸術工科大学 4年) / 副統括: 山本 康揮(大阪工業大学 修士1年)  
 奥西 真夢(京都府立大学 3年) / 吉田 雅大(近畿大学 2年) / 杉田 美咲(畿央大学 2年) / 岩屋 百花(関東学院大学 4年)  
 司会進行: 久保 瑞季(武庫川女子大学 修士1年) / 池田 怜(武庫川女子大学 修士1年)

### 参加予定講師

建築・美術両分野を代表する評論家をはじめ、第一線で活躍されている建築家や世界の建築構造研究を担い教鞭を執られているストラクチャー・エンジニアによる講評。また、大学で教鞭を執られ、日本を代表されるプロフェッサー・アーキテクト等にご講評をいただきます。

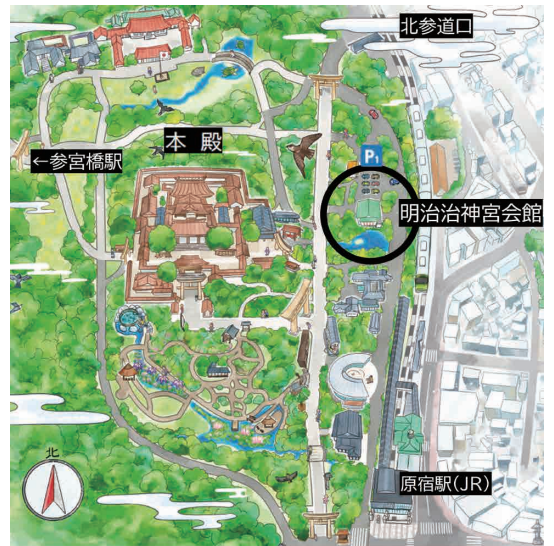


お問合せ | 特定非営利活動法人 (NPO法人) アートアンドアーキテクトフェスタ | ウェブ [www.aaf.ac](http://www.aaf.ac) | Eメール [info@aaf.ac](mailto:info@aaf.ac)

3.6<sup>日</sup> 08:00 開場 (受付開始)  
09:20-18:00

予定プログラム ※9:00-18:00 境内・計画地にて作品視察 (公開)

- 08:00 開場 (受付開始)
- 09:00 集合 各自挨拶
- 09:20 開始・開催の挨拶・予定説明
- 09:30 計画地案内
- 13:00 第一部 発表・講評 (4グループ×20分)
- 14:20 休憩
- 15:00 第二部 発表・講評 (4グループ×20分)
- 16:20 公開審査、質疑応答
- 17:00 結果発表、総評、表彰式
- 18:00 閉会



2020年東大寺開館 公開プレゼンテーションの様子